



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 ニッセイ

コード番号 6271 URL <http://www.nissei-gtr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 山田昌宏

TEL 0566-92-1151

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,055	19.6	352	9.5	402	△34.7	216	△50.1
26年3月期第2四半期	7,570	2.8	321	△17.3	616	24.5	434	200.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 119百万円 (△90.7%) 26年3月期第2四半期 1,281百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	7.81	—
26年3月期第2四半期	15.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	47,171	43,435	92.1
26年3月期	47,887	44,475	92.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 43,435百万円 26年3月期 44,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	38.00	50.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当には特別配当25円が含まれております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	5.8	670	△10.8	820	△34.7	480	△82.5	17.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	29,194,673 株	26年3月期	29,194,673 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	1,461,805 株	26年3月期	1,461,588 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	27,733,018 株	26年3月期2Q	27,733,462 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成26年11月14日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足資料	11
(1) 経営成績	11
(2) 製品別売上高及び海外売上高	11
(3) 設備投資額及び減価償却費	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策の効果が現れるなかで、企業収益や雇用情勢が改善し景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、一部に弱さが見られました。

また、米国及び欧州経済は緩やかに回復したものの、中国経済は成長が鈍化した状態が続いており、先行き不透明な状況となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループの業績は、国内市場では設備投資需要の増加に支えられ、堅調に推移いたしました。また、海外市場においても米国及びアジアを中心に堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,055百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益は売上の増加に伴う粗利益の増加等により352百万円（同9.5%増）、経常利益は営業外収益の大幅減少等により402百万円（同34.7%減）、四半期純利益は経常利益の減少に伴い216百万円（同50.1%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

① 減速機

国内売上は4,248百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。海外売上は米国及びアジア向けが好調だったことに加え、グループ商流見直しに伴う米国子会社の取引移管により、2,335百万円（同61.4%増）となり、減速機合計は6,584百万円（同22.0%増）となりました。

利益面においては、減価償却費等固定費の増加により、セグメント利益は198百万円（同43.3%減）となりました。

② 歯車

国内売上は自動車用歯車等の増加により、2,294百万円（同12.5%増）となりました。海外売上は欧州及び中国市場向けロボット用歯車の増加により、99百万円（同65.6%増）となり、歯車合計は2,393百万円（同14.0%増）となりました。

利益面におきましては、売上の増加に伴う粗利益の増加により、セグメント利益82百万円（前年同四半期はセグメント損失98百万円）となりました。

③ 不動産賃貸

愛知県名古屋市内に賃貸マンション2棟を運営しております。売上高は77百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は50百万円（同8.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12.3%減少し、13,812百万円となりました。これは、主として有価証券の満期償還により1,207百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%増加し、33,358百万円となりました。これは、主として投資有価証券の購入により1,331百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1.5%減少し、47,171百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6.8%増加し、2,852百万円となりました。これは、主として売上高増加に伴い買掛金が140百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19.4%増加し、883百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ9.5%増加し、3,736百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2.3%減少し43,435百万円となりました。これは、主として配当金の支払いにより利益剰余金が942百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が161百万円増加し、繰延税金資産が56百万円増加し、利益剰余金が104百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283	960
グループ預け金	4,153	3,695
受取手形及び売掛金	4,041	3,944
電子記録債権	65	352
有価証券	2,912	1,705
製品	245	227
仕掛品	1,659	1,591
原材料及び貯蔵品	750	786
その他	641	550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,752	13,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,591	5,446
機械装置及び運搬具（純額）	3,622	3,726
その他（純額）	3,204	3,187
有形固定資産合計	12,418	12,361
無形固定資産	269	282
投資その他の資産		
投資有価証券	17,842	19,173
その他	1,607	1,545
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	19,446	20,715
固定資産合計	32,135	33,358
資産合計	47,887	47,171
負債の部		
流動負債		
買掛金	560	701
未払法人税等	366	262
賞与引当金	17	522
役員賞与引当金	19	8
製品保証引当金	16	14
固定資産撤去引当金	74	74
その他	1,616	1,268
流動負債合計	2,671	2,852
固定負債		
製品保証引当金	22	22
固定資産撤去引当金	39	39
退職給付に係る負債	272	257
繰延税金負債	305	385
その他	100	178
固定負債合計	740	883
負債合計	3,412	3,736

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,475	3,475
資本剰余金	2,575	2,575
利益剰余金	38,390	37,447
自己株式	△1,284	△1,285
株主資本合計	43,156	42,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	799	956
為替換算調整勘定	479	234
退職給付に係る調整累計額	40	32
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,222
純資産合計	44,475	43,435
負債純資産合計	47,887	47,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,570	9,055
売上原価	5,675	7,062
売上総利益	1,895	1,993
販売費及び一般管理費		
従業員給料	397	394
賞与引当金繰入額	—	132
役員賞与引当金繰入額	17	8
退職給付費用	14	11
その他	1,144	1,094
販売費及び一般管理費合計	1,573	1,641
営業利益	321	352
営業外収益		
受取利息	45	39
受取配当金	54	24
為替差益	124	—
補助金収入	54	—
物品売却益	41	41
その他	10	4
営業外収益合計	330	111
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	34	38
投資事業組合運用損	—	13
為替差損	—	7
その他	1	1
営業外費用合計	36	61
経常利益	616	402
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	5	6
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	36	0
リース解約損	—	5
その他	—	1
特別損失合計	36	7
税金等調整前四半期純利益	585	401
法人税、住民税及び事業税	71	263
法人税等調整額	79	△79
法人税等合計	151	184
少数株主損益調整前四半期純利益	434	216
四半期純利益	434	216

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	434	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	659	156
為替換算調整勘定	187	△245
退職給付に係る調整額	—	△8
その他の包括利益合計	847	△97
四半期包括利益	1,281	119
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,281	119
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	585	401
減価償却費	610	751
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	504
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	17	△11
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△218	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△100	△64
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△6
固定資産除却損	36	0
リース解約損	—	5
売上債権の増減額 (△は増加)	26	△204
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△95	35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7	160
その他	△192	51
小計	655	1,433
利息及び配当金の受取額	123	105
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△428	△363
営業活動によるキャッシュ・フロー	349	1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	2,701	1,602
有形固定資産の取得による支出	△1,520	△983
有形固定資産の売却による収入	1	7
無形固定資産の取得による支出	△10	△39
投資有価証券の取得による支出	△3,270	△1,942
投資有価証券の売却及び償還による収入	700	402
保険積立金の解約による収入	71	35
定期預金の預入による支出	—	△18
定期預金の払戻による収入	145	527
貸付金の回収による収入	10	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,171	△366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△454	△1,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459	△1,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,280	△270
現金及び現金同等物の期首残高	5,454	4,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,173	4,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,396	2,099	73	7,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,396	2,099	73	7,570
セグメント利益又は損失（△）	350	△98	45	297

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	297
全社費用（注）	△11
売上割引	34
四半期連結損益計算書の営業利益	321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,584	2,393	77	9,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,584	2,393	77	9,055
セグメント利益	198	82	50	331

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	331
全社費用（注）	△18
売上割引	38
四半期連結損益計算書の営業利益	352

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足資料

(1) 経営成績

(百万円未満切捨、%)

区分	平成26年3月期 第2四半期累計		平成27年3月期 第2四半期累計		増減		当期予想 (平成27年3月期)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率	金額	売上比
売上高	7,570	100.0	9,055	100.0	1,484	19.6	16,900	100.0
営業利益	321	4.2	352	3.9	30	9.5	670	4.0
経常利益	616	8.1	402	4.4	△214	△34.7	820	4.9
当期純利益	434	5.7	216	2.4	△217	△50.1	480	2.8

(2) 製品別売上高及び海外売上高

(百万円未満切捨、%)

区分		平成26年3月期 第2四半期累計		平成27年3月期 第2四半期累計		増減		当期予想 (平成27年3月期)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
製品別 売上高	減速機	5,396	71.3	6,584	72.7	1,187	22.0	12,350	73.1
	歯車	2,099	27.7	2,393	26.4	293	14.0	4,400	26.0
	不動産 賃貸	73	1.0	77	0.9	3	4.9	150	0.9
	合計	7,570	100.0	9,055	100.0	1,484	19.6	16,900	100.0
(内、 海外 売上高)	減速機	1,447	26.8	2,335	35.5	888	61.4	3,650	29.6
	歯車	59	2.8	99	4.1	39	65.6	0	0.0
	合計	1,506	19.9	2,434	26.9	927	61.6	3,650	21.6

(注) 海外売上高の構成比は当該セグメント別売上高の構成比であります。

(3) 設備投資額及び減価償却費

(百万円未満切捨)

区分	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期 (予想)
設備投資額	1,717	2,704	3,220
減価償却費	1,135	1,329	1,590